

2020年度 第7回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2021年1月19日(火) 17時45分～19時00分
開催施設 参加者数	金沢大学0名、富山大学0名、福井大学4名、金沢医科大学9名、石川県立看護大学5名、信州大学4名、 金沢赤十字病院0名、金沢医療センター0名、石川県立中央病院7名、公立松任石川中央病院0名、 公立能登総合病院2名、石川県済生会金沢病院3名、 高岡市民病院0名、富山県立中央病院3名、富山県済生会高岡病院0名、富山市民病院0名、 黒部市民病院4名、富山赤十字病院0名、 長野赤十字病院4名、飯田市立病院0名、諏訪赤十字病院8名、福井県立病院15名 会場参加 計68名 その他 個別のオンライン参加 計59名 合計127名
テーマ	「怒りを表出する患者の対応に苦慮した事例」
発表者	金沢医科大学病院 上埜 千春さん
【意見交換内容】	<p>・家族の関わりや様子、面会の状況、セルフケア指導の内容、患者の看護師への態度などに対し、質疑応答があった。</p> <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MSWとして患者さんの思いを看護師以外の立場で聞き、傾聴する。 ・患者に怒られると一歩引いてしまう、怒るほど何が辛いのかを考えて接するようにしている。 ・「怒りは」交感神経が有意になっており看護師も同じくノルアドレナリンが放出されている状況でセルフケアが重要である、自分の身体に関心を持つ、それが出来ない自分に自分の短所を認めざるを得ない、今までやってきたことを認めてあげ、出来ている部分を認め共感することが大事である。 ・他に、怒りの原因を理解する、踏み込みにくいのが、何故なのか模索しながら、本人の頑張りを受け理解してあげる。 ・緩和ケアチームに相談しながら、一緒に進めて行く。 ・看護師だけでなく他職種を踏まえ、カンファレンスを行い情報共有し対応していく。 ・患者さんは痛くて不安で怖くて仕方なかった、そして看護師となかなかかみ合わなかったことが怒りの原因にも繋がった。
ミニレクチャー	「怒りを表出する患者への対応」